



# VALETON |

# DAPPER BASS

## 取扱説明書

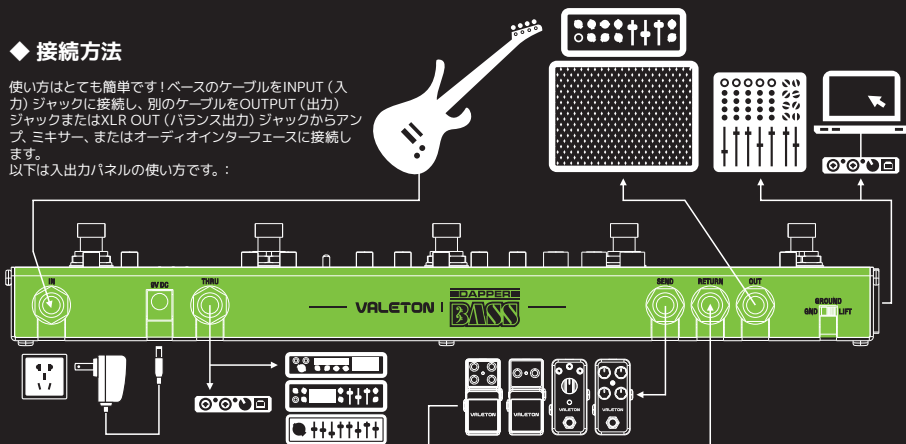
Dapper Bassは、ベースプレイヤーのためのオールインワン機材です。このストリップには必要なものがすべて揃っており、さらにインスピレーションを与えてくれる機能も備えています。  
本製品を最大限に活用するために、このマニュアルをお読みください。

## ◆仕様

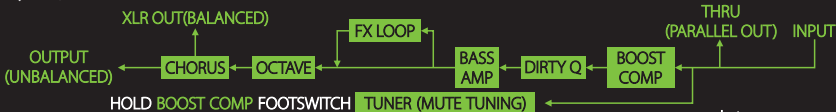
電源: 9V DC センターマイナス  
消費電流: 85mA  
寸法: 320mm (奥) × 65mm (幅) × 42mm (高さ)  
重量: 690g

## ◆接続方法

使い方はとても簡単です！ベースのケーブルをINPUT (入力) ジャックに接続し、別のケーブルをOUTPUT (出力) ジャックまたはXLR OUT (バランス出力) ジャックからアンプ、ミキサー、またはオーディオインターフェースに接続します。  
以下は入出力パネルの使い方です。:

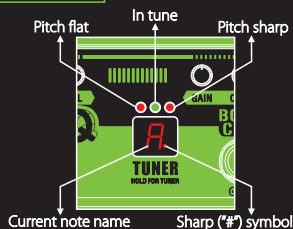


## ◆シグナルパス



## ◆モジュール (信号の経路)

まず最初は、大きくて見やすく、正確なチューナーです。これにより、しっかりとチューニングされた状態で演奏できます。  
BOOST COMPモジュールのオン/オフスイッチを長押しすると、チューナーが起動します。このモジュールが有効になると、Dapper Bassの出力はミュートされます。  
チューナーを終了するには、いずれかのフットスイッチをタップしてください。  
画面には音名が表示され、右下のドットは「シャープ (#)」を表します。  
音程の正確さは、LEDインジケータで示されます。



DAPPER  
BASS

EFFECTS STRIP

**BOOST COMP** は、ブースターとコンプレッサーを組み合わせたモジュールです。一度設定すれば手間いらずのノブ設計により、シンプルながら強力な効果を発揮します。コンプレッサーは、温かみのあるオプト・コンプ風のサウンドを生み出し、自然なサステインと弾むようなアタック感が特徴です。ブースターは、最大+12dBのゲインを加えることができ、高域を持ち上げ低域に深みを加えます。

コントロール：  
FUZZ：ファズのオン/オフを切り替え  
GAIN：ブーストの量（ゲイン）を調整

これをオンにして、あなたのラインにファンキーなソウルを加えましょう！ **DIRTY Q** モジュールは、いくつかの面白い仕掛けを備えたエンベロープフィルターです。SENS ノブを調整して、自分の演奏スタイルに合ったボーカルのようなトーンを見つけてみましょう。もし、歪みと倍音が欲しくなったら、FUZZスイッチをオンにしてみてください。

コントロール：  
FUZZ：ファズのオン/オフを切り替え  
SENS：フィルターの感度を調整  
VOL：エフェクトの出力音量を調整

Dapperの **BASS AMP** は、あらゆる音楽ジャンルに対応するベースに必要な生命力を与えます。イコライザーはクリーンな音に最適で、ゲインを上げて也是非常に応答が良いのが特徴です。

コントロール：  
VOL：出力音量を調整  
BASS / MID / TREB：低域 / 中域 / 高域のEQパラメーターを調整  
GAIN：ゲインの量を調整



オールアナログのモノフォニック **OCTAVE** モジュールを使って、低域を厚くしたりシンセのようなリード音を作ったり、すべてを壁にぶつけるような激しいサウンドを作り出したりしましょう。個別のオクターブとドライのコントロールにより、最大限のインスピレーションが得られます。

コントロール：  
DRY：ドライ信号の音量を調整  
OCT 1：元の音より1オクターブ低い音の音量を調整  
OCT 2：元の音より2オクターブ低い音の音量を調整

豊かな **CHORUS** モジュールに飛び込んで、サウンドを大胆な新しい世界へ連れて行きましょう。面倒なパラメーターは一切なし——1つのDepth（深さ）ノブだけで、どれだけ深くアナログコーラスの世界に入り込むかを決められます。

コントロール：  
DEPTH：コーラスの深さを調整

## ◆ その他の機能

### FXループと出力端子

SENDおよびRETURNジャックを使用して、他のペダルを追加し、ボードを拡張することができます。FX LOOPの位置は、BASS AMP モジュールと OCTAVEモジュールの間にあります。（「信号の経路」図を参照）Dapper Bassは、ベースアンプ、オーディオインターフェース、ミキサー、その他の機材に対応したさまざまな出力を備えており、すべての出力は同時に使用可能です。THRU出力ジャックは、ラックプロセッサーやインターフェースなどのパラレルエフェクトへ信号を送ったり、リアンプを行う際に使用します。Dapper Bassはこの出力に影響を与えません。

XLR OUTは、オーディオインターフェースやミキサーにバランス信号を送ります。これらの入出力オプションにより、Dapper Bassは、どれほど規模が大きくなってもあなたのリグの中核として機能できます。

### GROUND LIFT（グラウンドリフト）

XLR OUTジャック使用時にハムノイズが発生する場合は、GROUNDスライダーをリフトの位置に切り替えてください。これにより、XLR OUTのグラウンドを切り離し、ノイズを除去します。